

1 県民の皆さんへ

～地震・津波を「正しく恐れる」ために～

必ずお読みください！

- ◆ 南海トラフを震源とする最大クラスの地震による揺れと津波の対策を具体的に進めるためには、対象となる地震・津波がどの程度のものなのか、具体的なイメージを持つ必要があります。
- ◆ そのため、前回報告（H24年）以降、得られた科学的な調査・研究成果に基づく最新の知見を踏まえて、国が行った地震モデルや推計手法の見直しの検討結果を参考にして、最大クラスの地震・津波の予測を行いました。
- ◆ 最大クラスの地震・津波の発生確率は極めて低いものの、こうしたことも起こり得るということを念頭に置いておく必要があります。
- ◆ ただ、地震・津波はこの想定どおりに起こるとは限りません。また、いつ起ころのかについても現在の科学をもってしても正確にはわかりません。想定はあくまで可能性の一つであることを認識していただく必要があります。
- ◆ 県民の皆さんには、いたずらに怖がることなく、かといって油断することもなく、地震・津波の特性を正しく理解し、きちんと備えをしていただきたいと思います。
- ◆ 「正しく恐れる」ことがとても重要だと考えています。



～ともに立ち向かうために～

その1 自助と共に備える。あなたの命はあなた自身が守る！

南海トラフ地震による被害は県内全域で同時多発的に発生しますので、行政による「公助」だけでは対策に限界があります。そのため、住宅の耐震化や津波からの早期避難といった「自助」や、地域全体で助け合いながらお互いを支え合う「共助」の力を高めることが極めて重要になります。

「自助」「共助」を意識し、事前に備えておけば、被害は必ず減らせます。

その2 想定にとらわれず、最善を尽くす！

津波は予測した浸水域と浸水しないエリアの境界線でピタリと止まるわけではありません。

今回の想定は、あくまで多くの可能性の中の一つに過ぎません。どんな場合でも、「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」の津波避難三原則を意識し非常に備えましょう。

その3 取り組みに無駄はない、できることから実行を！

今回の地震・津波の予測を確認し、最寄りの避難場所や避難所までの経路を再確認してください。また、日頃から地域で行う訓練や勉強会にも積極的に参加し、地域の防災力の向上に努めましょう。

県民が一丸となって取り組むことで、被害を大きく減らすことができます。
地震・津波を正しく恐れ、ともに立ち向かっていきましょう！

